

福島工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	0044		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	化学・バイオ工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	教科書：New Edition Unicorn English Communication 3 (Bun-eido)					
担当教員	大須賀 心綾					
到達目標						
① やや長い英文について、精読と速読をはじめとするストラテジーを用いながら、内容を正確に理解できる。 ② 学んだ単語や文法を身につけ、英語で表現できるための基礎的な力を確実なものにできる。 ③ 基礎的な英語力を元に、応用力を養う。 ④ 副教材を活用し、リスニング・文法・読解力を体系的に理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2	課題に積極的に取り組んでいる。		課題に取り組んでいる。		課題に取り組んでいない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (F)						
教育方法等						
概要	教科書を主軸に、読解力とそれを支える語彙力・文法力の基礎的な力を養い、応用力を身につける。副教材を利用して、実践的なリスニングのトレーニングと、TOEICの形式による文法・語法の演習を行う。					
授業の進め方・方法	定期試験は50分の試験を実施する。 定期試験の成績を60%、平素の成績（授業中の取り組みや予習の状況、小テストの得点、課題の完成度等）を40%として、総合的に評価し、60点以上を合格とする。 再試験を実施する。					
注意点	予習（本文の語彙の確認やワークシートなど）・復習（音読や復文など）を欠かさずに行うこと。 課題の提出をきちんと行うこと。 授業には辞書を持参すること。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション Reading Skillsの復習 Unit 1 Creativity		授業の進め方について理解し、予習・復習の方法がわかる。 Unit 1 語彙の理解・習得、内容の理解	
		2週	Reading Skillsの復習 Unit 1 Creativity		Unit 1 語彙の理解・習得、内容の理解	
		3週	Reading Skillsの復習 Unit 1 Creativity		Unit 1 語彙の理解・習得、内容の理解と発展的内容の理解	
		4週	Unit 2 Future Society		Unit 2 語彙の理解・習得、内容の理解	
		5週	Unit 2 Future Society		Unit 2 語彙の理解・習得、内容の理解	
		6週	Unit 2 Future Society		Unit 2 語彙の理解・習得、内容の理解と発展的内容の理解	
		7週	Unit 1, 2 のまとめ		Unit 1, 2 これまでに学習した内容の理解・習得	
		8週	前期中間試験		前期中間試験に向けた主体的学習	
	2ndQ	9週	Unit 3 Food Across Borders		Unit 3 語彙の理解・習得、内容の理解	
		10週	Unit 3 Food Across Borders		Unit 3 語彙の理解・習得、内容の理解	
		11週	Unit 3 Food Across Borders		Unit 3 語彙の理解・習得、内容の理解と発展的内容の理解	
		12週	Unit 4 Our Planet		Unit 4 語彙の理解・習得、内容の理解	
		13週	Unit 4 Our Planet		Unit 4 語彙の理解・習得、内容の理解	
		14週	Unit 4 Our Planet		Unit 4 語彙の理解・習得、内容の理解	
		15週	Unit 4 Our Planet		Unit 4 語彙の理解・習得、内容の理解と発展的内容の理解 前期期末試験に向けた主体的学習	
		16週	Unit 3, 4 のまとめ 前期期末試験返却		前期期末試験の振り返り	
後期	3rdQ	1週	夏休み課題の確認とフィードバック Unit 4 Our Planet		夏休み課題の理解 Unit 4 語彙の理解・習得、内容の理解	
		2週	Unit 4 Our Planet		Unit 4 語彙の理解・習得、内容の理解	
		3週	Unit 4 Our Planet		Unit 4 語彙の理解・習得、内容の理解と発展的内容の理解	
		4週	Unit 5 Relationships		Unit 5 語彙の理解・習得、内容の理解	
		5週	Unit 5 Relationships		Unit 5 語彙の理解・習得、内容の理解	
		6週	Unit 5 Relationships		Unit 5 語彙の理解・習得、内容の理解と発展的内容の理解	
		7週	Unit 4, 5 のまとめ		Unit 4, 5 これまでに学習した内容の理解・習得	

	4thQ	8週	後期中間試験	後期中間試験に向けた主体的学習
		9週	Unit 6 Critical Thinking	Unit 6 語彙の理解・習得、内容の理解
		10週	Unit 6 Critical Thinking	Unit 6 語彙の理解・習得、内容の理解
		11週	Unit 6 Critical Thinking	Unit 6 語彙の理解・習得、内容の理解と発展的内容の理解
		12週	Unit 7 Sustainability	Unit 7 語彙の理解・習得、内容の理解
		13週	Unit 7 Sustainability	Unit 7 語彙の理解・習得、内容の理解
		14週	Unit 7 Sustainability	Unit 7 語彙の理解・習得、内容の理解
		15週	Unit 7 Sustainability	Unit 7 語彙の理解・習得、内容の理解と発展的内容の理解
		16週	Unit 6, 7 のまとめ 後期期末試験返却	後期期末試験の振り返り

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながら平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	

評価割合

	試験	TOEIC・英検	英会話	課題等	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	40	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	40	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0